

## 【放課後等デイサービス】事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和5年3月31日

事業所名：うんどう広場Tomorrow

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点等
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか。	○			基本的に1枠最大2名の利用スケジュールを組んでおり、1人当たりの広さは十分に確保できていると思います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか。	○			基本的に1枠最大2名の利用スケジュールを組み、マンツーマンでの対応に努めています。
	③	事業所の空間は、子ども等に分かりやすい環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、配慮が適切になされているか。	○			うんどうスペースはお子さんにも分かりやすいように視覚的な支援も取り入れた環境になっています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			法人代表及び児童発達管理責任者を中心に事業所の運営・業務について、話し合う時間を設けて、取り組んでいます。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか。	○			令和4年度から保護者向け評価表を活用して、保護者の方の以降の把握に努めています。
	⑥	この自己評価の結果を事業所のホームページ等で公開しているか。	○			令和4年度の自己評価より、ホームページで公開する予定です。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在は、利用者と事業所内の評価のみ行っています。今後、必要に応じて、第三者による評価の実施も検討していきたいと思っています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか。		○		最低限の職員で運営を行っているため、研修等の機会を確保できていない現状がありますが、令和4年度は、児童発達管理責任者基礎研修1名、強度行動障害支援者養成講座1名、研修を受講しました。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか。	○			見学や体験時、送迎などの際にニーズ把握をしたり、日々の療育を記録し、個別支援計画を作成しています。必要に応じて、利用者が児童相談所や医療機関で行った検査結果をお持ちいただき、発達状況を把握しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか。	○			
	⑪	活動プログラムの計画等を広く職員が参画して、行っているか。	○			個別支援計画を基に、複数の職員が様々な分野の視点で利用者の行動や心理面を考え、支援方法や活動内容等の検討につなげています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか。	○			利用当日のお子さんの状態を考えて、当日の活動内容を考えています。
	⑬	子どもの状況に応じて、個別活動と少人数活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか。	○			当事業所では、基本的に1枠最大2名の利用スケジュールを組んでおり、職員とマンツーマンでの療育を実施しているため、個別活動を少人数活動が組み合わさっています。
⑭	支援開始前には職員間で打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について、確認しているか。	○			毎日ミーティングを行い、支援内容・役割分担をした上で、当日のお子さんの状態を確認して、活動内容などを検討しています。	

適切な支援の提供	⑮	支援終了後には、職員間で打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○			活動後に気になる行動等があった場合、職員間で共有するようにしています。また、日々の活動は記録しており、職員が閲覧できる状態になっています。
	⑯	日々の支援に関して、正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			
	⑰	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか。	○			概ね6カ月に1度、モニタリング・支援計画の見直しを行っています。
	⑱	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	○			遊びを通して、運動への意識づけを行い、諸君が積極的に「ほめる」ことで自己肯定感を高め、スモールステップで成功体験を積んでいます。 また、制御運動として、創作活動もお子さんの状態によって取り組んでおり、表現する喜びを体験できるようにしています。 活動の中で自己選択をする等の場面も設けながら支援をしています。
関係機関や保護者との連携	⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか。	○			開催される場合には、児童発達支援管理責任者等の適任者が出席しています。
	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○			保護者を通して情報を得ています。 学校主催の連携会議等が開催される場合は参加させていただくこともあります。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか。			○	現在、医療的ケア児の受け入れを行っていません。 今後、受け入れることになった場合は、医療機関等と連携してきます。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○			必要に応じて、情報共有を行っていきます。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等をしているか。			○	現在、該当するお子さんの利用がありません。 今後、該当するお子さんの利用があり、要望があった場合は、情報を提供していきます。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか。			○	現在、最低限の職員配置で業務をしているため、研修等を受ける時間の確保が難しい状況です。しかし、zoomで受講可能な研修等は受けることができる体制はあります。
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や障がいのない子どもと活動する機会があるか。			○	療育時間が限られているため、地域交流が難しい状況となっております。お子さんの状態に応じて、必要性があれば支援計画に位置づけた上で考慮していきます。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○			積極的に参加できるような体制を整えています。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○			LINE@を活用して、活動報告を送っています。 保護者からもLINE@を通じて、お子さんの状況等を伝えてこられる場合もあります。
㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか。	○			保護者向けのペアレントトレーニング等の支援は行っていませんが、LINE@でのやり取りの中で必要に応じて、助言等を行っています。	

保護者への説明責任等	②9	運営規程、支援の内容、利用者負担等について、丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っております。また、随時不明な点は職員が説明するようにしています。支援の内容については、モニタリングや支援計画の説明でお伝えしたりしています。
	③0	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○		お子さんの活動中、事務所で待機している保護者の方には、その場で相談等に応じることが出来ます。また、LINE@や必要に応じて別日で相談日を設けることも出来ます。
	③1	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携をしているか。		○	現在、保護者会等の開催はしておりません。今後、必要に応じて検討していきたいと思えます。
	③2	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		苦情があった場合、苦情受付・解決担当につなげて、迅速かつ適切に対応するよう努めています。また、事業所内で共有し、再発防止につなげます。
	③3	活動予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		翌月のスケジュールを配布しております。保護者の方との連絡や情報発信ツールとして、LINE@を導入し、活用しております。
	③4	個人情報に十分注意しているか。	○		個人情報に記載された書類は、鍵付きのキャビネットに保管しています。
	③5	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		分かりやすい伝達方法を工夫したり、伝える方法をお子さんや保護者に合わせるようにしています。
非常時等の対応	③6	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	現在、事業所の行事企画等を行っておりません。今後、事業所の運営状況によって検討していきたいと思えます。
	③7	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか。		○	マニュアルの策定ができていないため、今後マニュアルを策定して、職員や保護者への周知・説明に取り組んでいきます。
	③8	非常災害の発生に備え、定期的に避難、連絡、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		現在は、防火管理者講習受講済みの職員を中心にお子さんのいない時間帯で避難経路の確認や訓練を行っています。今後、お子さんがいる状態での避難訓練の実施等をしていきたいと思えます。
	③9	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		現在、外部研修に参加することが難しい状況のため、内部研修を行っています。
	④0	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか。	○		現在、対象児童はおりません。身体拘束については、お子さん本人の生命や身体を保護するため緊急を要する場合に、切迫性・非代替性・一時性であることを条件に行うことを職員の共通認識としています。万が一、行った場合は記録に残すことにしています。対象児童がいる場合には、職員間で協議した上で、決定し、支援計画に記載する体制があります。
④1	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はありませんが、運動ポイントを貯めることでお菓子と交換できるシステムを作っております。それを実施するにあたり、保護者の方にアレルギー等の確認をさせてもらいました。	
④2	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか。	○		危険な事例があった場合、記録に残し、ミーティングを通して、職員で共有するようにしています。	